

瀬戸内海のカキ養殖業で大規模へい死が発生！

広島県を中心に瀬戸内海の各地で養殖カキのへい死が10月以降、相次いで報告されています。主な原因は高水温で、その他に栄養塩不足、高い塩分濃度などの影響も考えられており、地域によって被害の程度は異なるものの、水揚したカキの9割がへい死している地域もあるなど大規模な被害となっています。現在、共済団体では被害の把握に努め、共済金の早期支払いに向けて全力を挙げて取り組んでおります。

一方で、被害が発生した地域でも共済未加入または十分な補償内容でない養殖業者もいました。「ぎょさい」「積立ぷらす」が、漁業経営を守るセーフティネットとしての機能を發揮できるよう、引き続き共済団体一丸となって普及推進に取り組んで参りますので関係各位のご支援ご協力をよろしくお願いします。

最後になりますが、12月8日に青森県東方沖を震源とする地震・津波が発生しました。被害に遭われた方々に心よりお見舞い申しあげます。気象庁は、巨大地震が発生する可能性が平時と比べて相対的に高まったとして「北海道・三陸沖後発地震注意情報」を発表しました。食料や生活用品の備蓄に加え、避難ルートの再確認が求められていますので、改めて万全の対策をよろしくお願いします。

令和7年度の加入実績（11月末累計）（単位：百万円）

区分	共済金額			漁業者積立額		
	本年度	前年度	前年比	本年度	前年度	前年比
漁獲共済	213,293	208,352	102%	15,752	16,572	95%
養殖共済	217,193	228,083	95%	7,322	8,952	82%
特定養殖共済	111,258	98,568	113%	3,784	3,414	111%
漁業施設共済	18,356	18,184	101%			
地域共済	13,490	10,877	124%			
合計	573,590	564,063	102%	26,858	28,938	93%